

Vories
cure&care



ヴォーリス
だより

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
三ツ浪 健一
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

病院ホームページアドレス
<http://www.vories.or.jp/>

2016年(平成28年) 8月1日 第110号

『最期のときまで“寄り添う支援”を目指して』

在宅サービス部門長

(訪問看護ステーションヴォーリス所長 兼務) 向 美 保



暑中お見舞い申し上げます。

今年は早くから猛暑が到来し、過ごしやすい時期であったはずなのに焼き付けるほどの日照りに体力を消耗されておられることと思います。例年以上に「熱中症」対策は欠かせず、戸外に出るには帽子やタオル・水筒は必需品です。朝夕の涼しい時間帯の外出や屋内での活動にもこれらのセットに加えて「保冷剤」を持参されることをお勧めします。

さて、我が「在宅サービス部門(訪問看護・訪問介護・居宅介護)」は、おかげさまで職員数も増え現在総勢45名が地域の皆様のところでも活躍させていただいております。訪問看護は、今年度より県内初の「機能強化型訪問看護管理療養費1」の取得をし(現在も県内1つだけ)、赤ちゃんからご高齢の方まであらゆる疾患や障がいの方々に対応させていただいております。また、24時間365日緊急時対応も行っていることから「在宅での看取り」の方も増えてきています。訪問介護は、「特定事業所加算1」の取得をし、痰の吸引等の手技取得者が3名おり、障がいの方や医療依存度の高い方の訪問が増えてきています。居宅介護支援事業所は、介護支援専門員5名全員が主任ケアマネとなり、約175ケースを担当させていただいております。この3事業所が隣接し連携し合い、「地域包括ケアシステム」の中では欠かせない重要な役割を担うようになりました。また、県内でも大規模化となっていることから、平成27年度の決算では3事業所合わせて約15,000千円の経常利益となり、法人内の事業としても大きく成長してきております。

平成28年4月現在、近江八幡市において高齢化率25.7%であり、これから益々65歳人口も高齢化率も伸び続けると予測されており、「4人に1人が認知症」とも言われています。病院も入院期間の短縮をせざるを得ない状況にあり、「ときどき入院、ほぼ在宅」の時代は避けて通れなくなりました。

そこで、在宅での介護に不安を持たれていたケースや介護のためにお仕事を辞めざるを得なかった方々のことを振り返り、何とか私たちができることを模索し、新しく「看護小規模多機能型居宅介護」の新設を前向きに検討することにしました。これは、「泊まり」「通い」「訪問(看護・介護)」の全てを担う介護保険での複合型サービスです。認知症の方をはじめ、難病や医療依存度の高い方などケアプランから支援までトータル的に私たちがお引き受けいたします。「地域密着型」ですので、地域の皆様やボランティアさんとの交流も含めて「第2の我が家」になるよう、行政と相談しながら近い時期に実現可能にしたいと考えています。もちろん「ヴォーリス医療・保健・福祉の里」にある様々な施設との連携は欠かせず、近江八幡の皆様が「安心して」暮らしていただけるように、ヴォーリスグループが「最期のときまで寄り添う支援」に努めていきたいと思っております。

そして、日頃よりヴォーリスの「在宅サービス部門」を支えて下さっている方々にも感謝をしながら、皆様のご期待に応えられるよう私たちの力を出来る限り発揮していく決心です。

どうぞ今後ともご支援の程よろしくお願いいたします。

敷地内全面禁煙です。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

今
月
の
聖
句

貧しい人々は、幸いである、神の国はあなたがたのものである。

新約聖書 ルカによる福音書 6章20節



チャプレン 安部 勉

「私たちは発展するために生まれてきているわけではありません。幸せになるためにこの地球にやってきたのです。人生は短いし、すぐ目の前を過ぎてしまいます。命よりも高価なものは存在しません。」

これはホセ・ムヒカさんという南米ウルグアイの大統領の言葉です。少し前、来日しテレビにも取り上げられご存知の方もいるかもしれません。国連の国際会議での演説の中での言葉でした。

この演説の中で6時間労働を獲得した労働者の話がありました。しかし、自動車ローンなどの支払いのため、6時間労働どころか他の仕事をしなくてはならなくなったと言っています。

ムヒカさんが言いたいのは「沢山消費することが豊かさ」と考えることへの問題提起でした。

豊かな生活を実現する新製品や便利なものが次から次へと出て来ます。そして収入に関わらず「手に入れたい」との思いをローンという「借金」を負わせてでも実現させよう、新たに買ってもらおうとしています。その結果、時間を支配されるのです。

ムヒカさんは単に「欲しい」と願う人の問題ではなく、そのような「消費社会」こそ「豊かなこと」と進める考え方に「本当に幸せとは何か」と問いかけているのです。

そして演説の最後にこのように述べました。

「発展は幸福を阻害するものであってはいけない

のです。発展は人類に幸福をもたらすものでなくてはなりません。愛情や人間関係、子どもを育てること、友達を持つこと、そして必要最低限のものを持つこと。これらをもたらすべきなのです。」

聖書でイエス様は「貧しい人々は、幸いである」と宣言されました。ムヒカさんの言葉を借りれば「貧しい人々」に約束されている「神の国」には愛や友情、そして飢え渴くことのない日々が約束されていると言えるのかもしれませんが。

次々と宣伝される新製品に惑わされる私たち。お金がなくても「手に入れたい」と思うような社会。でもそのために失うのは家族と共に過ごす時間や感動を共有する時間。お金や快適な生活を得られても家族のところが離れ離れになることもあるでしょう。

当院の創立者ヴォーリズさんは事業も展開しました。しかし、自分の財産を築くことはしませんでした。学校や病院の働きのために財産を捧げ、家族に事業を継承することもせず神さまのもとへと帰っていきました。ヴォーリズさんは「近江を神の国に」というビジョンを掲げていました。イエス様の語られる「神の国」とヴォーリズさんの思い描く「神の国」が同じであったかはわかりません。でも財産や富を築くことに「幸せ」を見出すのではなく「愛情や人間関係」の大切さを示したヴォーリズさんもまた私たちに「幸せとは何か」を教えてくださいました。

在宅サービス部門だより

ケアマネージャーとして

山内 宏子

入職して4か月が経ちました。事業所は全員が主任介護支援専門員であり、経験豊富な先輩たちの中で毎日相談や助言のもと勤務させていただいています。

ヴォーリズの印象は、在宅サービス、病院とともに充実しており、専門性が高いスタッフが多く、また、リハビリの環境や設備が優れていることに驚きました。

私は今までも他の病院でケアマネージャーをしてきました。その時の管理者が、持病を持ちながらも常にご利用様を一番に考え、自分のことは二の次で人生を仕事でまっとうされました。自分が続けられなかったことを後悔し、若い私に託す


かのように「何でも経験。あなたには長い人生がある。ずっと頑張って」とこの世をさらされました。当時は未熟であり、5人の中で一番下であった私に大事な業務を任せられ、後輩たちに自分の分まで精一杯やってもらいたいという思いを持ち、仕事を託されたのかもしれませんが。「ケアマネージャーは女優よ。どんなことにも対応できるようにするのがこの仕事」と話されていました。あれから6年、勤務先は変わりましたが、その気持ちを忘れず、ヴォーリズ在宅サービス部門の一員として基本理念に添い、里の連携を活かしながら、在宅で生活されているご利用様、ご家族を支えられるように努めていきたいと思ひます。

ヘルシークッキング 8月

ゴーヤチャンプルー 「苦A」

エネルギー 198kcal タンパク質 13.2g 脂質 10.8g-1人分-

★材料-4人分-

・ゴーヤ	160g	
・豚薄切り肉	100g	
・木綿豆腐	1丁	
・卵	2個	
【A】		
・醤油	小さじ4	
・酒	大さじ1	
・オイスターソース	大さじ1	
・鶏ガラだし	小さじ1.5	
・ごま油	適量	
・かつおぶし	2.5g (小袋1袋)	

★作り方

- ① ゴーヤを縦に切りわたと種を取ってから2mm程の半月切りにして塩を振り軽く揉んでから10分程放置して水洗いする。
- ② 豚肉は一口大に、豆腐は水切りをして2cm角に切る。(豆腐の水切りは600wの電子レンジ1分程でできます。)
- ③ フライパンにごま油をひき、豚肉・ゴーヤを炒める。
- ④ ゴーヤに火が通ったら豆腐を入れて軽く炒める。
- ⑤ 【A】の調味料を入れ、豆腐を崩さないように混ぜながら味を馴染ませる。
- ⑥ 溶き卵を入れて具材に絡ませ、卵に火が通ったら皿に盛り付け、鰹節を振りかける。

夏野菜の定番と言えば「ゴーヤ」。元々は九州南部や沖縄でのみ食用されているゴーヤですが、近年では市場に多く出回るようになり、すっかり夏の食卓の定番になりました。こんなゴーヤですが独特の苦みから苦手な方も多いのではないのでしょうか？しかし、このゴーヤの苦み成分は胃腸の調子を整え、食欲を増進させる働きがあります。また、ビタミンCを豊富に含むため疲労回復にも役立ちます。ゴーヤは暑さから食欲が湧かない、体の疲れがとれないといった夏バテの予防にはピッタリの野菜です。

特に夏バテ予防としておすすめしたいのが「ゴーヤチャンプルー」。今回紹介させて頂い

たゴーヤチャンプルーに使われている豚肉はビタミンB1を多く含みます。ビタミンB1は体中の糖質をエネルギーに変える働きがあり疲労回復に効果的です。また、卵と豆腐の良質なたんぱく質が取れることもポイントです。特に、夏場は食欲が落ちやすく、つい「今日はそうめんだけ。」という風に炭水化物だけの食事になりがちなため栄養バランスが崩れやすく、たんぱく質やビタミン、ミネラルが不足しがちです。食欲の落ちる夏場の栄養補給にゴーヤチャンプルーはピッタリです。まだまだ続く暑い季節を乗り切るためにもゴーヤチャンプルーを作ってみては如何でしょうか。

健康について

3病棟 山本 肇

私は、小さな時からスポーツをしていたためか病院に通院したこともほぼ無く、風邪などの時には市販の薬を飲んで完治していました。ですが最近、風邪をひいた時、頭痛と咳が止まらず、市販薬の錠剤とシロップの咳き止めをいくつか服用し、休日には安静にするも、夜も眠れないほどの苦しい咳と頭痛に悩まされました。病院にはかからず、結果、完治するまでに1カ月を要し、自分の中でも「もしかしたら風邪ではなく、もっと重篤な病気にかかったのか

も？」「病院に行ったほうが良かったかも？」と年齢を重ねた今、不安を感じる日々を送りました。症状が快方に向い、睡眠や食事をとることができ、日常生活に戻れるようになって初めて「何よりも健康が一番」と普段意識していなかったことに気づかされました。今後は自分の年齢も考え、無理をせず自分の身体のケアを行い健康に気を付けて過ごすようにしていきたいと思います。



報告1

第42回 里モニター会 報告

チャプレン 安部 勉

去る6月24日、当院研修室に於いて「第42回 里モニター会」が開催されました。モニター様には「里」活動を第三者の視点でご覧頂き、事業への参与、またチェックをして頂いています。

はじめに今期より新たなメンバーとなられた方を迎え、澤谷事務長よりオリエンテーションとしてモニターの役割、活動についての概要を聞いて頂きました。

その後、全体会としてモニター様の自己紹介、里の活動報告を各事業体（病院、老健、ケアハウス、在宅部門）の担当者よりの報告を聞いていただきました。

特に病院としては認知症デイケアの開始、障がい児リハビリテーション、地域包括ケア病床などの新たな展開について、また今年度より開設され

た「中北部地域包括支援センター」についての紹介、報告を聞いていただきました。また在宅サービス部門からは地域包括ケアシステムの一環である「看護小規模多機能型居宅介護」（通いの介護、泊まり、訪問を一か所で展開する事業）を計画していることをお伝えしました。老健、ケアハウスの活動も安心して過ごせるための方策にご理解をいただきました。

モニター様からは「高齢者の困り事などはどこへ相談したらよいか」などの質問を受け、地域包括ケア、地域包括支援センターの働きについて説明を致しました。今後もモニター様を通して事業への理解を深めて頂き、また率直な意見を承り、それぞれの働きの改善に繋がりたいと考えています。

報告2

ホスピス偲ぶ会について

ホスピス 森 啓一

6/11(土)に年2回の恒例のホスピス偲ぶ会を開催させていただきました。

今回のご遺族の参加人数は10家族で14名。いつもより人数は少なくても、各テーブルはアットホームで和やかな雰囲気でもはざんでいました。

私達のこういった※グリーフケアとしての働きは、他にも3ヶ月の手紙、1年の手紙などもしていますが、大切な家族を亡くされたご遺族が悲しみ(悲嘆)を乗り越えて、また新たに自立の前進をする助けになればと切に願っているものです。

ご遺族からは、亡くなられたご家族とのわだかまりが和解へと導かれたお話や、同席したご遺族同志(お2人とも妻としての立場)が、思いを打ち明

けることで気持ちが楽になったという話が聞かれました。

アンケートでは「同じ思いの方と話が出来、明日への力を頂きました」「手厚い看護を頂き、主人も心安らかに天国に召されたと思います」という声もありました。悲嘆の中におられるご遺族のため少しでも力になれたのではないかと、今後も良い働きを続けたいと願っています。

※グリーフケア(身近な人と死別して悲嘆に暮れる人が、その悲しみから立ち直れるようそばにいて支援すること。一方的に励ますのではなく、相手に寄り添う姿勢が大切といわれる)



第239回 ミュージックタイム

さる2016年6月25日、「第239回ミュージックタイム」を3病棟で開催いたしました。今回は河本学さん、高村明代さんご夫妻のヴァイオリンとヴィオラの演奏を楽しみました。素晴らしい音色、そして四季折々を思い起こす選曲に皆さんのところに優しさが届いたかのような一時でした。



メディカルフィットネスセンターヴォーリス 会員募集中

あなたの健康づくりをサポート

元気な方は体力づくり 病後の方は体力回復
沢山の方がご利用されています。



営業日と時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:30～	デイ	市委託	○	デイ	市委託	---	---
12:00							
13:30～	○	○	デイ	○	○	---	---
17:00							
17:30～	---	○	---	---	○	---	---
20:00							

利用料金

入会金 3,750円

月会費

週3回以上 8,208円

週2回 5,400円

週1回 3,024円

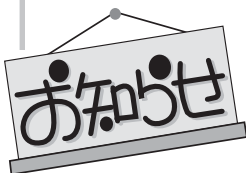
* デイ=介護保険サービス 市委託=市から受けている委託事業 ○=会員制による実費サービス

休館日

土・日・祝・年末年始など または当センターが特別に定めた日

〒523-0806 近江八幡市北ノ庄町492 ヴォーリス老健センター1階

電話 0748-32-5540 ファックス 0748-32-5541



▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで月に一度、木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法に関する教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 8月8日(月) 12:00~13:30 場所 新館研修室(病院内)
講師 薬剤師

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内 (平成28年度)

開催日程表

回	日程	内容	担当・講師
3	9月15日(木) 14:00~16:00	「認知症になってもその人らしい生き方を支える」	訪問看護ステーションヴォーリス 在宅看護専門看護師 田村 恵 氏
4	11月24日(木) 14:00~16:00	「認知症の予防(運動編)」 (仮)	ヴォーリス記念病院 作業療法士 宮本 優子 氏
5	2月23日(木) 14:00~16:00	「おりがみ教室 PART X II」	ヴォーリス老健センター 施設長 鈴木 輝康 氏

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員：30名
- ②場 所 アンドリュース記念館(旧YMCA会館)
近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③参加費 無料
- ④申し込み 3回目9月12日(月)までに往復ハガキで
①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を
記入の上、下記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492
ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで
お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内
ホームヘルパーステーション
担当 生駒
(Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

患者支援センター

介護・入院・施設の入所等で、お困りのことが
ありましたら、ご連絡下さい。

TEL (0748)32-5211 (代)
FAX (0748)36-5412 (直)
E-mail info@vories.or.jp (代)

※センターは正面玄関入って左側でございます。



働く仲間を募集しています!

★看護師・訪問看護師・介護福祉士

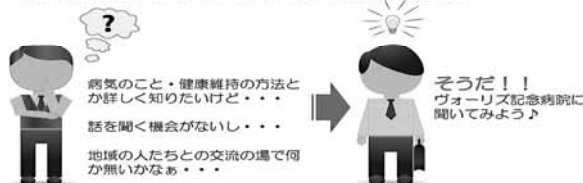
“ケアの喜びを一緒に
感じませんか。”



詳細はお問い合わせ下さい。TEL 0748-32-5211 (担当:澤谷)

健康生活について「出前講座」のご案内

ヴォーリス記念病院では、「地域の皆さまの健康生活に貢献できる病院」の一環として、地域に出向いて『出前講座』を開催しています。また、この講座を地域で開催することにより、地域の皆さまの健康と福祉の増進に努めたいと思っています。ぜひご利用ください。



ヴォーリス記念病院では下記の講座を実施しております。



お申込・お問い合わせはこちら >>> TEL: 0748-32-5211 (代表)
◎ホームページでもご覧いただけます。 FAX: 0748-32-2152
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 経営企画室 まで

お知らせ

がんになったホスピス医の生き方論

希望という名の ホスピスで見つけたこと



ヴォーリス記念病院ホスピス(希望館)長 細井順先生の著書が出版されました。

窓口販売のみ特典!! 『先生の直筆サイン入り』

窓口販売価格 1,200円(税込)

ご購入を希望の方は、医師課受付にてお問い合わせ下さい。